

《履修上の留意事項》面接授業のみ実施

《担当者名》木村恵

【概 要】

発達障害の作業療法における治療の実践と支援方法について学習する。発達障害における作業療法での遊びの治療的応用とその効果について理解を深め、代表的な疾患、障害について、その臨床像における治療的視点、治療計画の立案、作業療法の実際を学習し、治療の基本的技術について演習を通して習得する。発達段階とその段階における発達課題を理解し、感覚、運動の側面から、玩具や遊具を用いた治療介入の仕方について実際に体験することにより理解を深める。

【学習目標】

【一般目標】

治療的関わりについて、演習を通して理解を深める。

【学習目標】

1. 姿勢分析を行い、作業に適したポジショニングを考え、実施することができる。
2. 遊びの治療的応用について説明できる。
3. 発達検査の内容を知り、検査結果を作業療法評価およびプログラム立案に用いることができる。
4. 感覚統合理論について理解し、作業療法に応用することができる。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	オリエンテーション	授業の進め方、授業概要	木村恵
2 }	ポジショニング	姿勢分析とポジショニング	木村恵
3			
4 }	ポジショニング	姿勢分析とポジショニング	木村恵
5			
6 }	遊び	遊びの治療的応用を考える	木村恵
7			
8 }	前半まとめ	まとめ	木村恵
9			
10 }	感覚統合	感覚統合理論の概要説明と感覚プロフィール	木村恵
11			
12 }	感覚統合	感覚統合遊具を使った遊びの展開	木村恵
13			
14 }	発達検査	各種発達検査を実施し、検査内容を理解する	木村恵
15			

【評価方法】

平常点10%、定期試験40%、課題およびレポート50%

【備 考】

教科書 : 適宜資料を配布

参考書 : 佐藤剛 他 著 「みんなの感覚統合 - その理論と実践 - 」 パシフィックサプライ 1996年
テラサ・E・バウントニー 他 著 「脳性まひ児の24時間姿勢ケア」 三輪書店 2006年

Jung Sun Hong 著 「正常発達-脳性まひの治療アイデア- 第2版」 三輪書店 2014年
岩崎清隆 著 「発達障害の作業療法【第2版】ー基礎編ー」 三輪書店 2015年
岩崎清隆 他 著 「発達障害の作業療法【第2版】ー実践編ー」 三輪書店 2015年

【学習の準備】

この授業は、2年次「発達系評価学」3年次前期「発達障害作業療法学」で学んだことをもとに演習を行う。そのため、予習、復習については以下のように準備すること（20分）。

予習は、次回授業範囲に該当する授業プリント等を復習し、理解しておくこと。

復習は、2年次、3年次で使用した教科書および演習で使用したプリント等を活用し、今まで習得した知識と演習内容の統合を行うこと（20分）。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

（DP4）リハビリテーション専門職として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、適切に対処できる実践的能力を身につけます。

【実務経験】

木村 恵（作業療法士）

【実務経験を活かした教育内容】

発達障害領域における医療機関、福祉機関の臨床経験を活かし教育を行う。